

今回のインタビューは、広島安芸商工会青年部の部長である森隆彦さんをお願いしました。

聞き手 / 宗像啓之 委員



地域に密着した活動を

広島安芸商工会青年部部長

もり たかひこ
森 隆彦さん

合併（船越・坂・海田）してのメリットはどんなことがありますか

今年四月の合併によって、互いに助け合い、協力し合うことができるようになりました。それぞれが違った気質を持っており、互いにいいところを見習い、また刺激しあっている方向に進んでいると思います。

商工会青年部部長としての抱負は

併して一年目なので、今はまだ青年部としての組織を作っている段階にあります。部員相互の理解を深めるために部内向けの事業が多くなっています。今後二年、三年かけて外部へ向けた事業ができればよいと思います。

商工会青年部は、その土地で生まれ育ち、商売を営んでいる若者の集まりなので、その恩返しとして地域に愛される活動をしていきたいと思っています。

青年部の位置付けやその活動は

地域の商工業を盛り上げ、また地域の一員としての責任を自覚し、新しいまちづくりの力とならな



青年部として新たな活動を始められたと聞いています
がその内容は

今回九月に、合併してのスケールメリットを生かして「AkiJan」という情報誌を発行しました。この三町で今までにはなかった新しい形のものできたと思います。地域の活性化を図ることを考えています。今後は、様子を見ながら回数を増やしたり、ページを増やしたりしていきたいと思っています。

青年部のますますのご活躍を期待しています。本日はどうもありがとうございました。

青年部としての活動は、合併前にはなりますが、昨年秋に海田中学校で「しよく育まつり」を行いました。